

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(湯山地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局																				
1	果樹農家が減り廃園が増えている。鳥獣被害が深刻になっており、対策を考えていただきたい。	<p>近年、農業者の高齢化が進む中山間地域や島しょ部を中心にイノシシ等の有害鳥獣による被害が深刻化しています。</p> <p>松山市が実施している有害鳥獣対策には、有害鳥獣の農地への侵入を防ぐ「鉄柵・電気柵」や、個体数を抑制するための「箱わな」等の設置への助成、農業者が狩猟免許を取得する経費の助成、猟友会が市の有害鳥獣捕獲許可に基づいて捕獲したイノシシやサルのほか、今年度から新たに加えたニホンジカやカラスに対する報償費の支払いなどがあります。</p> <p>さらに特別に訓練された犬がサルの群れを追い払うモンキードッグ事業に取り組み、今年7月から2頭を導入した北条地区では、サルの群れを一度追い払ったところには現在まで群れの出没が見られなくなったなど、一定の成果を挙げています。</p> <p>今後も国や県の事業等を活用し、猟友会等の関係団体と連携・協力しながら有害鳥獣の被害防止に向けてさらなる対策を検討し、取り組んでいきたいと考えています。</p>	産業経済部																				
2	まつやまブランド農産物生産支援事業を来年度以降も継続してほしい。	<p>近年、農産物価格の低迷や消費者ニーズの多様化により、かんきつ農家の経営は非常に厳しい状況です。また、生産者の高齢化による担い手不足や新規就農者の減少により、農地が荒れ、耕作放棄地が増加するなど、生産環境の悪化が続いています。</p> <p>そこで生産面だけではなく、担い手確保や農地保全、流通面などを総合的に支援し、持続可能な力強い農業の実現を目指して、平成25年度からの3カ年事業として「次代につながる果樹産地生産力向上支援事業」を実施しています。この事業では総合的な農業振興の中で、産地の活性化や、松山市特有の農産物の地域ブランド化の確立などを中心に取り組んでいます。</p> <p>さらに、栽培技術の支援として、「ライム・アボカド」などの推進品目の販売や栽培指導等も行っています。</p> <p>◎次代につながる果樹産地生産力向上支援事業(25年度実績)</p> <p>認定農業者、営農集団、人・農地プランで地域の中心となる農業者を対象に、品種転換・施設導入・担い手確保・育成等の事業に対し支援を行い、活力ある持続可能な果樹農業を促進しました。</p> <table border="1" data-bbox="999 1500 1787 1704"> <tr> <td>改植</td> <td>…導入面積</td> <td>7.09a</td> <td>1戸</td> </tr> <tr> <td>ハウス整備</td> <td>…導入面積</td> <td>200.13a</td> <td>39戸</td> </tr> <tr> <td>灌水設備</td> <td>…導入面積</td> <td>538.19a</td> <td>63戸</td> </tr> <tr> <td>防風ネット等</td> <td>…導入面積</td> <td>303.54a</td> <td>28戸</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>1048.95a</td> <td>131戸</td> </tr> </table>	改植	…導入面積	7.09a	1戸	ハウス整備	…導入面積	200.13a	39戸	灌水設備	…導入面積	538.19a	63戸	防風ネット等	…導入面積	303.54a	28戸	合計		1048.95a	131戸	産業経済部
改植	…導入面積	7.09a	1戸																				
ハウス整備	…導入面積	200.13a	39戸																				
灌水設備	…導入面積	538.19a	63戸																				
防風ネット等	…導入面積	303.54a	28戸																				
合計		1048.95a	131戸																				

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(湯山地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
3	農業資材の価格高騰に対する補助、支援はできないか。	<p>現在、農業資材の価格高騰に対する直接的な補助ではありませんが、肥料等の価格高騰に対する支援として、農業指導センターで土壌分析を行い、コスト削減のお手伝いとして、過剰な肥料の使用を抑え、適切な量で耕作ができるようアドバイスをしています。</p> <p>また、「紅まどんな」や「せとか」など、有望柑橘品種の生産力の向上を目的として実施している「次代につながる果樹産地生産力向上支援事業」では、ハウス施設や灌水設備、防風ネット等の導入を支援しています。</p> <p>さらに、「地元野菜等産地活性化事業」では、野菜生産者を対象に、ハウス整備や保冷库、栽培管理機器等の導入を支援していますので、これらの制度をご活用いただければと思います。</p>	産業経済部
4	まつやまブランドの農産物の全国的、海外へのPRできないか。	<p>まつやま農林水産物ブランドの全国的なPRは、東京都大田市場や大手百貨店等でのトップセールスのほか、各種イベントやメディアなども積極的に活用し、販路拡大等を図ってきました。結果、新規の取扱店舗や取扱量も増加するなど、成果も表れていますので、引き続き、首都圏を中心に全国的なPR等を行っていきたいと考えています。</p> <p>なお、海外へのPRは、現在愛媛県が中心となって実施していますが、農産物の種類によっては検疫上の問題から輸出できないものもあるほか、輸送のコストや日数の問題などの課題が多く、市や町単独での実施は難しいことから、引き続き県と協議しながら検討したいと考えています。</p>	産業経済部
5	松山市にお金がないというのは本当か。	<p>松山市の財政は、これまでの行財政改革により、財政指標については比較的健全な状態ですが、地方では景気回復の実感に乏しく、市税などの歳入増が期待できない中で、医療・福祉・介護など社会保障関係経費等が増大することから、より一層厳しい財政運営を強いられることを覚悟しなければならない状況です。</p> <p>松山市でも、こうした厳しい財政状況ではありますが、市民ニーズを的確に捉え選択と集中によって、バランスのとれた政策の実現を目指すとともに、健全な財政運営に努めていきたいと考えています。</p>	理財部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(湯山地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
6	湧ヶ淵は湯山地域の宝であり、開放して、歩道の整備など散策できる場にできないか。	<p>湧ヶ淵は、奥道後玉川県立自然公園にも指定されている、豊かな自然に包まれた「大蛇伝説」の残る溪谷で、その中の松山市の所有地について、昭和35年から奥道後国際観光株式会社と貸借契約を結び、整備・維持管理も使用者(借主)である奥道後国際観光株式会社が行ってきました。</p> <p>この遊歩道は、平成13年に発生した土砂崩れ等で一部通行ができなくなり、また、使用者(借主)が整備した施設も老朽化等が見られるなど、安全面に問題があり、現在、一般の通行をお断りしている状況ですので、今後の整備計画等について、協議していきたいと考えています。</p>	都市整備部
7	湯山中学校が避難所に指定されているが、裏山が山崩れの危険性がある。危険な場合は放送をするということだが間に合うのか不安。より安全な場所を避難所にできないか。	<p>湯山地区では、湯山小・中学校や集会所など、できるだけ多くの公共施設等を避難所として指定しており、避難を必要とする災害が発生した場合には、安全を確認した後、避難所を開設することになります。</p> <p>湯山中学校のあたりは、急傾斜地崩壊危険箇所指定されていますので、災害の種類や規模により湯山中学校の安全が確保できない場合は、ほかの避難所を開設することになります。その場合、防災行政無線をはじめ、広報車両や緊急速報メール、さらにはテレビやラジオなど、さまざまな手段を活用し、速やかに住民の皆さんに周知することにしていきますので、行政などからの避難情報を聞いて適切な行動をとっていただきますようお願いいたします。また、防災マップや市のホームページで避難場所や避難経路を確認するなど、日頃からの備えをお願いします。</p>	総合政策部
8	大津市のいじめ問題を受け、松山市ではいじめ防止条例をつくる予定はないのか。	<p>現在松山市では、国のいじめ防止等のための基本的な方針を参考にしながら、(仮称)「松山市いじめ防止基本方針」の策定を目指して、関係課でプロジェクト会議を立ち上げ、基本方針の概要や策定スケジュールについて検討しています。今後、有識者や関係機関等からのご意見をいただくとともに、12月下旬にはパブリックコメントを実施し、広く市民の皆様の声を反映したいと考えています。基本方針の策定、公表は平成27年3月を予定しています。</p>	教育委員会事務局

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(湯山地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
9	<p>国道317号末町の交差点横断歩道の標示が薄くなり危険。小野3号線が開通して、交通量が増え朝晩伊台から降りてきて右折ができにくいので、対策をお願いしたい。</p>	<p>この県道松山東部環状線については、平成24年11月12日に地元関係者と管理者である愛媛県に要望をお伝えするとともに、交通規制を担当している松山東警察署と合同現地調査を行いました。 松山東警察署からは、「平成24年11月に右折矢印信号を設置し、平成25年5月にその矢印信号の時間延長を行いました。薄くなった横断歩道の塗り直しについても平成25年に実施しました。」との回答をいただきました。</p>	都市整備部
10	<p>今年の夏の通学路の点検を踏まえて、どういう対策をとる予定か教えてほしい。</p>	<p>平成24年8月に実施した通学路の緊急合同点検で認定した2箇所の危険箇所のうち、1カ所は、平成25年3月に児童が歩く範囲をはっきりとさせるために路肩に白線を引き、車の速度を抑えるための減速マークを引きました。 もう1カ所は横断後の児童の待機場所を確保するため、平成24年11月12日に地元関係者と管理者である愛媛県に要望をお伝えし、合同で現地調査を行いました。 愛媛県からは、「平成26年10月から歩道の拡張工事に着手し、平成26年度中に完成する予定です。」との回答をいただきました。具体的な工事の内容は、交差点部を中心に約30mの区間の歩道幅を1.5mから2.5mまで1メートル拡幅する工事となっています。</p>	教育委員会事務局
11	<p>中学校の通学路で危険なところがあるが点検しているのか。その後の対応を聞かせてほしい。</p>	<p>この県道40号線については、平成24年12月、湯山小・中学校、愛媛県、松山市道路管理課・学校教育課が合同で現地調査を実施しました。 この県道の北側の自転車と車が接触する危険性が高い箇所については、平成25年度に減速マーク(ドット線)とグリーンベルトを引き、ドライバーへ注意を促すよう対応しました。</p>	教育委員会事務局
12	<p>車道と歩道の境に段差があって、車輪が挟まって車いすの人が困っている。</p>	<p>グリーンヒルズ湯の山団地内の歩道部分は、平成23年4月の事故を受けて、地元関係者と松山東警察署、松山市が現地調査を実施した上で、平成23年度中に松山市が歩道の拡幅工事等を行ったものです。歩道と車道の境については、高齢者や障がい者の通行に配慮するとともに、雨水がスムーズに流れるよう、最低限の傾きを設けました。</p>	都市整備部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(湯山地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し) 及びその理由	担当部局
13	擁壁の上から落ちてくる枝、岩、石についてはどこに言えばいいのか。	<p>横谷ダム付近(市道湯山50号線)については、平成24年11月9日に道路管理課が路面の清掃、除草、剪定を実施しました。</p> <p>また、松山市では、市民の皆さんが市道を安全・安心に通行できるよう、3台のパトロールカーで日々、点検を行っています。この横谷ダム付近の市道沿いの樹木や雑草については、パトロール中に通行に支障があると思われる箇所を発見しましたので、道路管理課が改めて平成26年9月11、12日、26日に路面の清掃、除草、剪定を実施しました。</p> <p>なお、国道・県道・市道に関わらず道路等の異常にお気づきの点がございましたら、道路管理課(948-6471)までご連絡をお願いします。</p>	都市整備部